

令和3年度「地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進」実践研究事業

# ノーマライゼーションという言葉のいらないまちが取り組む 障害者等の学びの場づくり

## 広域的な研究成果普及・人材育成等を目的とした ブロック別コンファレンスの実施に関する 報告書

2022年3月

日経BP

東北ブロック

令和3年度文部科学省  
学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

# 共に学び、生きる 共生社会 コンファレンス

参加費  
無料

テーマ

SDGsと「障害者の生涯学習」推進に向けた  
共生社会コンファレンス

～ノーマライゼーションという言葉のいらないまち・陸前高田市からの発信～

内容

- ・「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」陸前高田市における「共生社会」に向けた取組の発信
- ・障害者の学びの場づくりに関する好事例の共有
- ・障害者の生涯学習活動に関する研究協議など

日時：2022年1月15日(土)10:00~16:20

会場：岩手県陸前高田市・市民文化会館

申込：不要 直接会場へお越しください(会場定員：200名)

特別な配慮を必要とする場合は、裏面問い合わせ先まで、事前にご相談ください。  
(オンラインでの視聴参加も可能です。視聴用QRコードからアクセスしてください)

主催：日経BP、岩手県教育委員会、文部科学省

協力：陸前高田市

対象：障害者の学びに関心のある人、福祉サービス事業所職員、社会福祉協議会職員、企業、NPO法人等の関係者、  
障害のある本人や家族、社会福祉・社会教育・生涯学習等行政担当者、社会教育施設職員、特別支援学校教職員など

※今回のコンファレンスは、岩手県教育委員会主催の「障害者の生涯を通じた学習活動支援」市町村担当者研修会に位置付けられています。

△ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着用してご参加ください。



陸前高田市民文化会館

奇跡の一本松ホール



日程：2022年1月15日(土)

会場：陸前高田市民文化会館  
「奇跡の一本松ホール」

テーマ：SDGsと「障害者の生涯学習」推進に  
向けた共生社会コンファレンス

～ノーマライゼーションという言葉のいらないまち・  
陸前高田市からの発信～

開催方式：ハイブリッド開催(リアル+YouTube  
での同時配信およびアーカイブ配信)

チラシ配布先：県教委(6カ所600枚)、市町村  
担当部局(33カ所2140枚)、特別支援学校  
(17校3120枚)、および陸前高田市内の関係  
団体(計600枚)

# コンファレンスプログラム

## 1. 午前：全体会 10:00~11:40

・メッセージ 岩手県陸前高田市 戸羽太市長「陸前高田市がめざすまち」

・特別公演 川島 成道さん (ヴァイオリニスト・文部科学省スペシャルサポート大使)

プロフィール：視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会う。桐朋学園大学卒業、英皇立音音楽院卒業。国際史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授けられる。CDは1st、2ndアルバムが20万枚の記録的大ヒットとなって以来15枚をリリース、デビュー当初より積極的にチャリティコンサートを行う。社会音アーティストとしても多方面に影響を与えている。



かわしまちありあ  
川島 成道さん

## 2. 午後：分科会 当日、ご自身の興味がある分科会を自由に行き来してご参加することができます。

### 分科会①

①13:00~14:10 ②14:30~15:40

・文化芸術を通じた障害者の生涯学習～地域と溶け合う学びに向けて～

「表現」を通じて人の心や想いを表出させる文化芸術活動を事例に学び合います。

ファシリテーター：柴崎由美子さん (NPO 法人エイブル・アート・ジャパン)

登壇者：田口ひろみさん、引地奈美さん (NPO 法人ポラリス) / 松田文登さん (株式会社ヘラルボニー) / 田崎飛鳥さん (画家・陸前高田市ノーマライゼーション大使)



田崎飛鳥さんの作品

### 分科会②

①12:40~13:40 ②14:10~15:10

・障害者の生涯学習を支える取組～岩手県内の障害者アート・スポーツ活動～

「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰受賞団体 (令和2・3年度) の実践から学び合います。

発表団体：社会福祉法人光林会「るんびにい美術館」(岩手県花巻市) /

特定非営利活動法人アートで明るく生きるかわさき (岩手県一関市) / 久慈地域卓球バレー協会 (岩手県久慈市)



るんびにい美術館



アートで明るく生きるかわさき



久慈地域卓球バレー協会

### 分科会③

①12:50~13:50 ②14:40~15:30

・陸前高田市で実践する持続可能な取組

～SDGs 未来都市で推進する障害者の生涯学習～

未来言語ワークショップなど体験型の生涯学習を通じて障害者と混ざり合うため手法を学び合います。

未来言語ワークショップ：株式会社ヘラルボニー (定員30人、当日申込先着順)

陸前高田市で実践してきた生涯学習の成果を発表します。

ファシリテーター：須藤シンジさん (NPO 法人ピープルデザイン研究所)

発表団体：障害者就労継続支援事業所あすなろホーム (陸前高田市) / 陸前高田市ユニバーサル就労支援センター

## 3. 夕刻：クロージング・セッション 15:50~16:20

・各分科会のふりかえりと全体まとめ

ファシリテーター：須藤シンジさん (NPO 法人ピープルデザイン研究所)

## 問い合わせ (実施団体)

日経 BP 総合研究所 プロデューサー 高津尚悟 mail:takatsu@nikkelbp.co.jp

文部科学省 障害者学習支援推進室 TEL:03-6734-3460

## 分科会①

文化芸術を通じた障害者の生涯学習～地域と溶け合う学びに向けて～

「表現」を通じて人の心や想いを表出させる文化芸術活動を事例に学び合います。

ファシリテーター：柴崎由美子さん (NPO 法人エイブル・アート・ジャパン)

登壇者：田口ひろみさん、引地奈美さん (NPO 法人ポラリス) / 松田文登さん、丹野晋太郎さん (株式会社ヘラルボニー) / 田崎 飛鳥さん (画家・陸前高田市ノーマライゼーション大使)

## 分科会②

障害者の生涯学習を支える取組～岩手県内の障害者アート・スポーツ活動～

「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰受賞団体 (令和2・3年度) の実践から学び合います。

ファシリテーター：岩淵忠徳さん (岩手県教育委員会事務局) 発表団体：社会福祉法人光林会「るんびにい美術館」(岩手県花巻市) / 特定非営利活動法人アートで明るく生きるかわさき (岩手県一関市) / 久慈地域卓球バレー協会 (岩手県久慈市)

## 分科会③

陸前高田市で実践する持続可能な取組～SDGs 未来都市で推進する障害者の生涯学習～

未来言語ワークショップなど体験型の生涯学習を通じて障害者と混ざり合うため手法を学び合います。

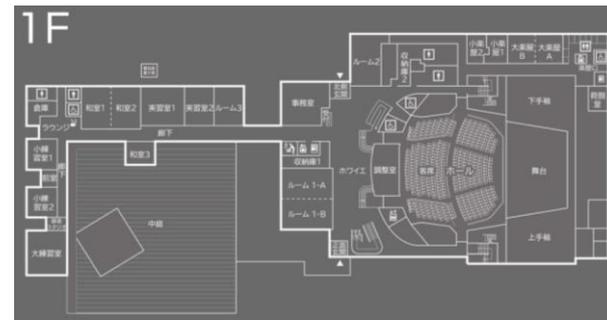
ファシリテーター：須藤シンジさん (NPO 法人ピープルデザイン研究所)

発表団体：障害者就労継続支援事業所あすなろホーム (陸前高田市) / 陸前高田市ユニバーサル就労支援センター

未来言語ワークショップ：株式会社ヘラルボニー

## ●本日のタイムテーブル

ホール		ロビー	
10:00	開会・挨拶：岩手県教育委員会事務局 教育次長 高橋 一佳 本事業の趣旨説明：文部科学省 障害者学習支援推進室長 清重 隆信 開催地・陸前高田市からのメッセージ：「陸前高田市がめざすまち」陸前高田市長 戸羽 太 取組説明：「陸前高田市での障害者の生涯学習」日経BP 総合研究所プロデューサー 高津 尚悟	アート展示： 田崎 飛鳥、る んびにい美術館、アートで 明るく生きる かわさき	
10:30	トーク対談：陸前高田市長 戸羽 太×NPO法人ピーブデザイン研究所 ファウンダー 須藤 シンジ 休憩(特別公演準備)		
11:00	特別公演 川島 成道 (ヴァイオリニスト・文部科学省スペシャルサポート大使)		
11:40	昼休み		
ホール	ルーム1	実習室	ロビー
12:40	休憩	休憩	12:40
12:50			12:50
13:00	文化芸術を通じた障害者の生涯学習 ～地域と溶け合う学びに向けて～	未来言語ワーク ショップ：株式会社 ヘラルボニー	13:00
13:10	①プロローグ：画家・陸前高田市ノーマ ライゼーション大使 田崎 飛鳥	（定員 30 人、当日 申込先着順）	13:10
13:40	②事例1：株式会社ヘラルボニー 松田 文登		13:40
14:10	休憩		14:10
14:30			14:30
14:40	③事例2：NPO法人ポラリス 田口 ひろみ、引地 奈美		14:40
15:00			15:00
15:10	④対話セッションまとめ ファシリテーター：NPO 法人エイブ ル・アート・ジャパン 柴崎 由美子		15:10
15:30	休憩		15:30
15:40	ホール		15:40
15:50	休憩(クロージング準備)		
16:00	クロージング：分科会担当者からの報告、参加者の感想共有、今後のアクションへのメッセージ ファシリテーター：NPO法人ピーブデザイン研究所 ファウンダー 須藤 シンジ		16:00
16:20	閉会・挨拶：文部科学省 男女共同参画共生社会学習・安全課長 石塚 哲朗 退館		16:20



・施設の2箇所に配信機材を設置し、来場者が、館内の部屋を自由に行き来できるように運営した。

・受付業務には就労体験を兼ねて陸前高田市内の障害当事者の方(2名)に参加してもらった。

・当日のホールでの司会進行も障害当事者の方と、それをサポートする施設長の2名で担当してもらった。

・ロビーには、当日の分科会で発表される障害者アートの一部(計20枚)を展示。そのほか卓球バレーが体験できるように卓球台も2台設置した。受付脇には、色盲体験と視線入力体験ができるように、PCも設置した。



文部科学省の趣旨説明



柴崎由美子さん（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン）



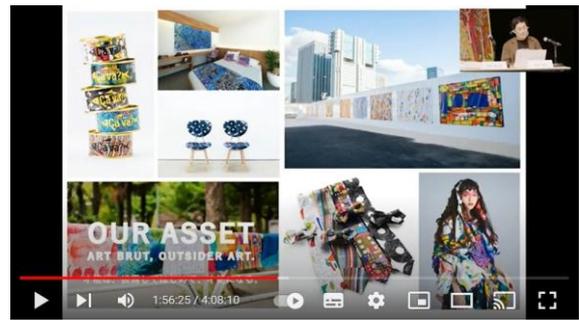
田崎飛鳥さんのドキュメンタリーを投影



戸羽 太陸前高田市長からのメッセージ



会場で柴崎さんが田崎飛鳥さんにインタビュー



松田文登さんがヘラルボニーの取組を説明



川島 成道さんの特別公演



分科会①の対話セッションまとめ

## 5つのプログラム

NPO・町・地域がつながって、宮城県山元町オリジナルの障害者の生涯学習プログラムを一緒につくります。

福祉の学びの力

学び続けることのできるまち

しなやかでやさしい文化のあるまちづくり

まちならび

ICT体験部

保護者カフェ

成果報告会

### 分科会①NPO 法人ポラリスの取組説明



### 分科会②「るんびにい美術館」の取組説明

希望郷いわて大会  
オープン競技「卓球バレー競技」

### 分科会②久慈地域卓球バレー協会の取組説明

・たくましく自立に向かって  
笑顔、わらいのある暮らしを。  
あがるぐいぎよう!

### 分科会②アートで明るく生きる かわさきの取組説明



### 分科会③陸前高田市で実践する持続可能な取組

DIYで出来る建物内装改修

・第一回(11/22): 10名が参加  
→清掃、養生・マスキング、下地処理を実施

### 分科会③ユニバーサル就労支援センターの取組説明

#### 第4回の様子

- ・最初に、今日の目標は「みんなで1つの作品を作って倒したい」ことを伝える(形やサイズの制約はなし)
  - ・それぞれがやりたいように立てていき、その間を職員・講師で繋げていく
  - ・「共同」が自然と生まれていく
  - ・完成まであと少しのところ、6割のドミノが倒れてしまう(発表の時間まで残り15分ほど)
- その結果…



### 分科会③あすなろホームの取組説明

## コンファレンスの実施成果と今後の展望

**会場来場者数: 70名**

**アーカイブを含む配信動画視聴者数: 256名(3月1日時点)**

午前の全体会、午後の分科会①、夕方のクロージングのアーカイブ配信

<https://www.youtube.com/watch?v=9wogA...>

分科会②、分科会③のアーカイブ配信

<https://youtu.be/WdtbsssoFVjo>

- ・コロナの第6波が到来し始めた時期だったため、岩手県の意向も受けて、直前(1月8日)に、「原則、ウェブで視聴できる人は、そちらから視聴していただく」という方針とし、現地でリアルに視聴する来館者の数を最小限にする形でコンファレンスを実施した。
- ・仮に、コロナがもう少し落ち着いていた時期であれば、会場来場者数は200人程度が見込まれていた。
- ・分科会については、アート関連の生涯学習をテーマに発表されることもあって、ロビーなどを活用して、絵画鑑賞会が体験できる構成にした。また、特別公演に、川畠 成道さん（ヴァイオリニスト・文部科学省スペシャルサポート大使）を招聘できたこともあって、コンファレンス会場は、アートあり、音楽あり、と障害者による芸術を楽しめる一日になった。
- ・来場した方からは、「川畠さんの演奏が素晴らしかった」「田崎さんの絵を直に見ることができて感動した」といった声をいただいた。「コロナが終息していれば…、より多くの人に貴重な体験を味わってもらえたのに…」と悔しい思いは、正直なところ残ってしまった。
- ・とはいえ、全体会、および分科会を通じて、アートが持つ、障害者の生涯学習の可能性の大きさについては、再確認ができ、来場者も含めて、多くの人に、今後の取り組みに向けた意義深いサジェスチョンを与えることができたと思う。